

No.	見学場所	種別	内容	質問への回答
1	希望丘不燃ごみ中継所	質問	不適正ごみの選別について、問題点は何か。	<p>・爆発や発火事故の危険性があること</p> <p>発火の危険性のあるスプレー缶やライターは、選別の効率化、安全化のために、他の不燃ごみとは別の袋に分けての排出を区民の方々にお願いしています。また、充電式電池については、不燃ごみとして排出せず、家電量販店等に設置されている「小型充電式電池リサイクルBOX」への投入をお願いします。（区ホームページ・区広報・「資源とごみの収集カレンダー」等で周知を行っています）</p> <p>しかし、ほかの不燃ごみと混在して排出されてしまう場合があります。不燃ごみ中継所での積み下ろしの際や、積み下ろされた不燃ごみを選別レーンへ運ぶためにフォークリフトですくい上げた際に圧力がかかってしまい、爆発や発煙、発火等の事故が起こっています。</p> <p>・手選別時の負傷の危険性があること</p> <p>不燃ごみは、品目上、鋭利なもの（割れたガラス片や刃物類等）が排出されるため、選別作業時、袋の中に不適物が混入しないかを確認するための破袋を行う際に、手を負傷する危険性があります。</p> <p>・不適物が多岐にわたるため、機械化等による作業面、コスト面の大幅な効率化ができないこと</p> <p>スプレー缶や充電式電池の他に、劇薬や塗料、石油類等、不燃ごみと混在して排出される不適物は多岐にわたるため、機械による選別が難しく、人の手に頼らざるを得ません。また、不適物の知識と一定の習熟度が必要なため、単純な人員増等で効率の向上を図ることができません。</p>
2	ペットボトル工場	質問	ペットボトルのベールは1つあたりいくらで売れたのか。	<p>公益財団法人日本容器包装リサイクル協会に処理を委託しており、重量単価で落札されます。令和5年度落札単価は上期65円/kg、下期60円/kgです。ベール300kgの場合18,000円になります。（参考）ベール1つの大きさは1m四方です。</p>
3	ペットボトル工場	質問	ペットボトルのベールがAランクと伺ったが、周囲に虫が飛んでいた。	<p>公益財団法人日本容器包装リサイクル協会が定める分別基準/引取り品質ガイドラインに則った品質検査が行われランクが決定されています。分別基準/引取り品質ガイドラインは協会ホームページに公開されています。</p>
4	エコプラザ用賀	質問	以前はエコプラザ用賀でのリユース譲渡は月2回抽選だったが、今は随時なのか？	<p>以前は粗大ごみとして排出された家具等を、リユース品として月2回の抽選方式で有償頒布していましたが、令和5年度より抽選方式を廃止し、随時引き渡しする方式に変更になりました。また、区民が家庭で不要になった家具家電等の持込みが可能になりました。</p>

No.	見学場所	種別	内容	補足など
1	希望丘不燃ごみ中継所	意見	不燃ごみを選別する作業の現場を見て感じたのは、やはり機械ではなく人の手がしていることだ。決して空気が良いとは言えない現場で作業をする人たちに支えられて、不燃ごみの資源化につながることを忘れてはいけないと思った。作業する環境の改善を希望する。職員の方も「課題です」と言っていた。	<p>（補足）夏季に大型扇風機を設置などはしているものの、建物も古く、根本的な環境改善は難しい状況です。一人ひとり正しい分別で、選別する量を少しでも減らす工夫が大切です。</p>
2	粗大ごみ中継所	意見	大型ごみの回収、再利用について、もう少し区内へ宣伝してはどうか。	<p>（補足）区ホームページなどでリユース事業についてご案内していますが、認知度などはまだまだです。今後、審議会において、効果的な啓発方法などについてもご審議をいただく予定です。</p>
3	その他	意見	白トレイ、小型電化製品、インクカートリッジ等の回収について、各まちづくりセンターにて大々的に行って欲しい。大変区民にとっては役立つことと思います。	<p>（補足）現在、まちづくりセンターを始めとした延べ40ヶ所以上の公共施設において、各種資源回収を行っています。今後も費用対効果も考量しつつ拡大を進めていきます。</p>
4	その他	意見	異物混入を防ぐため、今後、回収袋の透明化や記名化を一度検討すべきではないだろうか。ただし、個人情報問題などもあると思うので、直接記名ではなく他の方法も検討が必要だと思う。	<p>（補足）過去に記名化を検討したことがありましたが、個人情報問題により実施には至っておりません。</p>
5	その他	意見	ごみの減量化をはかるために、有料化の検討が必須だと感じた。	<p>（補足）今後、本審議会において、経済的手法を用いたごみ減量施策についてご審議いただく予定です。</p>

No.	見学場所	種別	内容	補足など
1	千歳清掃工場	感想	一度に大量の可燃ごみを燃やし続けている光景を目の当たりにし、この焼却炉が停止することがあるのかという問いの答えの内容に驚き、衝撃を受けました。1つの分厚い投棄物（健康器具（ランニングマシン）のベルトの一部のようでした）がごみの搬送機械に引っかかり焼却炉を停止せざるをえない状態になり、復旧に時間を要したとのことでした。	(補足) 焼却炉の停止は、収集時間の大幅な変更だけでなく、場合によっては再開までに多くの時間と多額の改修費用を要します。正しい分別の重要性について、多くの方にご存知のことが大切です。
2	千歳清掃工場	感想	不注意なごみの投棄により、焼却炉が止まってしまうことを知りました。また、焼却炉の壁面に数多くのビニール袋がへばりつき垂れ下がっている光景が目には焼き付きました。ごみの出し方ということを考えさせられました。	
3	千歳清掃工場	感想	マンパワーも電気量も多大なことで推察します。もう少し合理化できそう。また、焼却後の灰について、埋め立てではなく別の利用法がありそう。	(補足) 焼却後の灰は、資源化の取組みが行われており、一部はセメントの材料や路盤材、ブロック資材等に利用されています。(東京二十三区清掃一部事務組合発行 ごみれば 2023より)
4	千歳清掃工場	感想	工場への搬入不適合物について、リチウムイオン電池など新たな製品が出てきて、事故が起きているので、区民に周知してもらう必要を感じた。	(補足) 令和5年11月18日に、リチウムイオン充電機が原因と思われる火災が、粗大ごみ破砕処理施設で発生しており、分別の徹底にご協力いただけるよう周知・啓発に工夫が求められています。
5	ペットボトル工場	感想	施設のメンテナンスにかなりの費用がかかっていることを知ることができた。	(補足) 異物の混入は、機器の故障や施設の破損に繋がるだけでなく、選別している作業員にとっても危険を伴うため、一人ひとりへの意識啓発が重要です。
6	ペットボトル工場	感想	ペットボトルのリサイクル現場をみて、異物混入されていることが非常に危険だと感じた。区民のごみの捨て方に関する啓発事業は重要だと思う。	
7	エコプラザ用賀	感想	区民がまだ使用できるものを直接持ち込めたり、地元の掲示板「ジモティー」にリユース品を掲載したりなど、以前より区民が利用しやすくなっていた。廃棄したビニール傘をビニール部分を再生した布で作った傘が展示してあったり、学習コーナーもプラスチックごみのクイズがあるなど、ごみの啓発が充実していて、参考にしたいと思った。	(補足) 廊下に展示してあるサエラの傘は、廃棄したビニール傘ではなく、柄や骨部分も金属を使用せず、すべて再生プラスチックを使用したリサイクルしやすい傘です。
8	その他	感想	世田谷区ではごみ袋の指定がないと思うが、現在住んでいる自治体では、可燃ごみの袋は半透明、不燃ごみの袋は透明である。袋には記名が必須で、記名がないもの、異物が混在しているようなものは回収されない。そのため、きちんとごみを分別してからごみを出す習慣が身についた。世田谷区に住んでいたときは、分別を考えずにごみを出していたので、さまざまなものを混入させてしまっていたと反省した。	(補足) 分別の徹底や排出マナーの向上は、ごみ減量にも繋がるテーマです。今後、本審議会において、効果的な啓発方法についてご審議いただく予定です。